

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	運動習慣支援教室ふれんず山王教室	公表日	令和7年 2月 21日	
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
			課題や改善すべき点	
環境・体制整備	利用定員が適切なスペースとの関係で適切であるか。	6	0	集団活動が行えるよう、死角のない指導員の目が届く一つの空間です。放課後等デイサービスであれば40m以上の広さという基準より広めの空間を確保しています。
	利用定員やごどもの状態等に対して、職員の配慮度は適切であるか。	6	0	児童は1人に対して指導員2人といつても、個人別指導室に加え、個別指導室を設けています。また、指導員は2人以上で対応しております。保護者の方々が安心してお子様と一緒に運動できる環境を提供するためです。
	生活空間は、ごどもの性質によって構造化された環境になっているか。	6	0	室内内装は、ごどもの性質を考慮した構造化された環境になっています。また、事務所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	6	0	毎日の掃除、消毒を行い清潔な環境を保つを心がけています。また、常時消毒液機と加湿器を設置、稼働しております。活動スペースはカーペットで覆われています。
	必要に応じて、ごどもの個別の部屋や場所を使用することが認められる場合に適切であるか。	6	0	本人の性質や個性を踏まえなど個別に応じる場合、必要に応じて事務室等の部屋で対応しています。
	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	PDCAサイクルは定期的・継続的に実行しており、午前・午後、活動の事前・事後でミーティングを行っています。
	保護者向け評表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け評表、保護者会議のシートを用いて保護者の意向の把握に努めています。
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月に1回保護者会議を開催して意見交換を行い、業務の内容の検討・改善を行っています。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に第三者評価を受ける。その結果をもとに、運営改善に取り組んでおります。また、施設規制や認可規制の内容を踏まえることで外的要因や意見を踏まえ検討を行っています。
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部やオンラインでの研修を参加しています。職員それぞれの専門分野の向上を実現しています。
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページに支援プログラムを公表しています。
	個々のごどんに対してアセスメントを適切に行い、ごどんと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者様へ、又は保護者ニーズを踏まえ、行動観察を踏まえて問題をミーティングを行った後、支援計画を策定しています。
	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけなく、ごどんの支障に対する専門職員が共通理解の下で、ごどんの最善の利益を考慮した検討を行っているか。	6	0	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけなく、ごどんの支障に対する専門職員が共通理解の下で、ごどんの最善の利益を考慮した検討を行っているか。
	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	職員間でミーティングを実施して情報共有を行と共に、職員が個別支援計画を行っても確認できるようにしています。
	ごどんの状況の変化を見、柔軟化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等に取り組んでいるか。	6	0	必須に応じて利用者の発達センターを利用機関で行った検査結果を参考いただき、発達段階を把握しています。また、サードパーティの専門家による検査結果に基づき、再検討したり、保護者との面談を重ねて検討を行っております。
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの運営に関する指針」の「本人支援」「家族支援」「児童支援」「施設運営」「安全管理」の各項目、及び支援計画も踏まえながら、ごどんの支障に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	放課後等デイサービスガイドラインに沿った支援内容を踏まえながら放課後等デイサービス計画にて記載されています。また、個々の性質や課題を踏まえ、5歳頃に開く認知的の支援内容を設定しています。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	ミーティングではスタッフ1人1人が自由に意見を言い、支援の仕方や活動の進め方等、共同目標を持って取り組んでいます。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	児童一人一人やグループの性質に合わせプログラム内容を調整し、季節や空気の感覚・達成感に合わせて変化させています。
	ごどんの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	個別の実績・集団での育ちを踏まえて支援計画の作成をし、支援を行っています。
	支援開始時には職員で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援開始時には職員で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、支援を行っているか。
関係機関や保護者との連携	支援開始時には、職員間で必ず合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6	0	活動の実績・達成感をミーティングを行います。又は個別的に連絡調整を行う場合、保護者の方の意見を踏まえ、日々の支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要な判断を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	標準記入欄に記入してあります。過去の記録を元に検討・改善を行っています。
	放課後等デイサービス計画を行っている等、自己決定を促す支援を行っているか。	6	0	放課後等デイサービス計画を行っている等、自己決定を促す支援を行っているか。
	ごどんが自己決定できるよう支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	ごどんが自己決定できるよう支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。
	障害児相談支援事業者のサービス担当者会議や障害機関との会議に、そのことの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	障害児相談支援事業者のサービス担当者会議や障害機関との会議に、そのことの状況をよく理解した者が参画しているか。
	地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて関係機関との連携を図っています。
	学校との連絡体制（有・無定期面接、行事予定の連絡、ごどんの下校時刻の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に実行しているか。	6	0	行事予定の連絡をして保護者を得て確認を行います。また、送迎時間の確認や連絡調整等、児童の安全を確保するための連絡を行っており、保護者の方の連絡を踏まえ、運営を行っています。
	定期的に開催していいる保護者会議や研修会等で情報交換等を行う機会を設けているか。	6	0	必要に応じて定期保護者会議を行い、過去の記録を元に情報交換を行っています。
	学校が平成し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	まだそのような方はおりません。今後必要に応じて個人情報に留意し、対応してまいります。
保護者への説明等	地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて関係機関との連携を図っています。
	放課後等デイサービス計画（送迎時刻の確認、行事予定の連絡、ごどんの下校時刻の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に実行しているか。	6	0	行事予定の連絡をして保護者を得て確認を行います。また、送迎時間の確認や連絡調整等、児童の安全を確保するための連絡を行っており、保護者の方の連絡を踏まえ、運営を行っています。
	定期的に開催していいる保護者会議や研修会等で情報交換等を行う機会を設けているか。	6	0	必要に応じて定期保護者会議を行い、過去の記録を元に情報交換を行っています。
	家族の対応力の向上を図る観察から、家庭に応じて家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング会）や家族等の助けるできる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	フィードバック時に提出の方法等のアドバイスの機会を行っております。
	運営規程、支援プログラムについて丁寧な説明を行っていいるか。	6	0	開院内にて掲示を行っています。また、毎回定期的に運営規程、支援プログラムについて丁寧な説明を行っています。また、毎回定期的に運営規程、支援プログラムについて丁寧な説明を行っています。
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、ごどんの最適の利益の追求等の観点を踏まえて、ごどんや家族の意向を踏まえて確認しているか。	6	0	児童課は放課後等で個別に確認を行っています。また放課後等で個別に確認を行っています。
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	送迎時間・面接等で支援計画内容を説明する場を設け、同意を得ています。
	実践からごどんの状況を保護者と伝え合い、ごどんの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	利害関係者に参加している場合は、保護者の方に説明を行っており、保護者の方に理解してもらっています。
	家族の対応力の向上を図る観察から、家庭に応じて家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング会）や家族等の助けるできる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	開院時、必要に応じて参加してまいります。
	保護者会議や保護者会議等で情報交換等を行う機会を設けているか。	6	0	日々の送迎の際に子どもが状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間を設けています。
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアル、計画の策定は行っており、児童と職員で年3回程度の避難訓練を実施しています。
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施しているか。	6	0	定期的に避難訓練を実施しています。
	事前に、服装や予防接種、いかん処置等の状況を確認しているか。	6	0	定期的・随時にしっかりと保護者のより確認し、児童の服装や着用、アレルギーについて確認、職員間で確認し合っています。また、おやつの選択にはそれに沿って提供しない機会があります。
	食物アレルギーのあるごどんについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	児童が持つ病気の取扱いをし、個人個人に合わせて伝わりやすい方法で伝えています。
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取扱いについて、家族等へ周知しているか。	6	0	フリーマーケットでの販売、地域マルシェでの購入等を踏まえ、児童の安全を考慮するため、児童の安全を守るために周知を図っています。
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアル、計画の策定は行っており、児童と職員で年3回程度の避難訓練を実施しています。
	ビザハットを事業所内で共通し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	定期的・随時にしっかりと保護者のより確認し、児童の服装や着用、アレルギーについて確認、職員間で確認し合っています。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	外部の研修会を受ける場合を除き、また施設内にて虐待防止委員会を設置、研修を実施し、職員間で支障内容の確認を行っています。
	どのようの場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごどんや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	現在対象児童はおりません。対象児童がいる場合、施設内委員会にて検討した後、保護者への了解を得て支援計画に記載する体制があります。